

ものです。人間的にこなれていない、我が儘で子供っぽい人も少なくないようです。「自分はエリート社員だ」と公然と口にするような人にもこのタイプは多く見られますね。エリート意識の強い人間は挫折を知らない人が多く、人に対して傲慢な態度をとりがちです。すぐに人の批判をしたり、分かったような判断を勝手にしてしまいます。このような人々が他人の気持ちを思い遣ることは難しいものようです。また、このようなタイプには自分のことしか話さない「ミーイズム」タイプが多いものです。「自分が正しい」「自分は間違いない」と思っているからこそ、相手の話を聞こうとせず自分の事ばかり話す。こんな人の話は誰も聞きたくありませんね。人のことを思い遣れるようになって初めて精神的に本当の大人だと言えるのです。

コミュニケーションとは、人とのかわりあいです。心の通い合うコミュニケーションにはいったい何が大切なのか？もう一度考えるべきでしょう。
私自身も深く反省したいと思います。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

12月21日例会：クリスマスパーティー 18:20～ 於 饒心亭 おゝ乃

12月28日例会：休会（年末）

1月4日例会：休会（正月）

1月11日例会：新春例会 担当 斎藤会長

1月18日例会：「ロータリー理解月間」R情報委員会

1月25日例会：新年会 18:30～ 於 三条ロイヤルホテル

2月1日例会：「世界理解月間」卓話 佐藤亜希子様

2月8日例会：「ロータリー家族週間」ロータリー家族委員会

2月15日例会：味グルメ親睦旅行

2月22日例会：卓話



会長／斎藤 正
幹事／小林 満
SAA／阿部勝子

三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを祝おう

100年の歩み

例会日
2004. 12. 14
累計 No 876
当年 No 20

国際ロータリー会長 グレンE. エステス シニア 第2560地区ガバナー 横山芳郎
ホームページ <http://www.2nextne.jp/district2560/>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

TEL35-7160 FAX33-8972

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行事：卓話「その時、歴史が動いた」中條 耕二会員

出席：本日の出席 62名中 42名

先々週の出席率 61名中 52名 85.25%（前年同期79.29%）

先週のメイクアップ：12月9日 加茂RCへ 小林繁男さん、青柳康博さん、本間建雄美さん
中條耕二さん

13日 三条南RCへ 梨本清一さん

会長挨拶：斎藤 正会長



第10回目を迎えた世相を反映象徴する今年の漢字に「災」が決まった。ヨンのカレンダーをみつめ、ヨンの顔が刷り込まれたマグカップでコーヒーを飲む。それが一日のはじまりであるという圧倒的な中年女性のおば様族の定着から冬ソナを初めとした韓流ブームに乗って「韓」の漢字にも期待が寄せられた一面もあったけれど7・13水害、新潟中越地震、夏の猛暑、相次ぐ台風の上陸とかつてない記録的な天災とイラクでの人質殺害、国内での幼児虐待、子どもの殺人事件などの人災の多発で一過性とも思えるブームの影は薄く多くの人達の心に傷を残した災害が世相を反映した結果だったのだろう。

環境問題をはじめとして、人間の身勝手さに自然界からの警告にしては、その被害はあまりにも大きくその脅威に恐れおののくとともに天災に人間がいかに無力であるのか感じられた年でもあった。しかし反面ボランティアをはじめとして全国から差しのべられた暖かい支援には人間同志が支え合う人間としての心の優しさを痛感させられた1年でもあった。

禍には幸福の原因がひそんでいるものであるという「禍変じて幸いとなる」という諺がある。やがて迎える年は被災された皆さんにとって幸いに満ちた年であってほしいと心から祈ります。

幹事報告：小林（満）幹事

・三条市吹奏楽団より 「ファミリーコンサート2004」開催のご案内

日時 2004年12月19日（日）1回目11:00～2回目14:30～

会場 三条中央公民館

・三条市障害児教育研究会より ウィンターフェステバル出席のお礼

委員会報告： 親睦活動 「クリスマスパーティー」確認

2月15日～17日に味グルメ親睦旅行を計画しています。皆さん予定に入れておいてください。

詳細および出欠は後日確認いたしますのでよろしくお願いします。

ニコニコボックス： 14日現在累計 561,000円

斎藤正君 演そう付きの中條ノミニーの卓話を楽しみにしています。

小林満君 中條さんから緒々の写真を沢山顶戴しました。感謝の気持です。ありがとうございました。

中條耕二君 本日卓話の機会を頂いて感謝しております。

笹原壮玄君 中條先輩の卓話を楽しみに拝聴したいと思います。

本間重満君 中條さん卓話大変楽しみです。

石川友意君 中條さんの卓話たのしみに!!

今村泉君 申し分けございません。早退させていただきます。

山崎勲君

馬場直次郎君 ボックスに協力して、

今井克義君 BOXに協力。

落合益夫君 ボックスに協力

大橋政雄君 ボックスに協力

小林繁男君 ボックスに協力

外山晴一君 しばらくご無沙汰していました。

卓話： 「その時、歴史が動いた」中條 耕二会員



「皆さんこんにちは」先月11月19日の北クラブの例会卓話は5分しか時間がなく、私に対して可愛そうという同情か解りませんが、大野プログラム委員長より、今日たっぷりと時間を取るから何か話しせよとの命令がありました。ロータリー、特に北クラブは指名されれば絶対嫌とは言わせない良きしきたりがありますので、喜んでお引き受けした次第です。

私事で恐縮ですが法人会のボランティア活動に携わって40年近くになります。特に「法人会に入って良かったメリットは何か」と聞かれますが、

生涯学習とも言うべき研修事業と思っております。もちろん経営に関する活動ですが、毎月数多く研修テーマを決めて実施しており、数の上では経営者団体中でも抜群に多いのであります。その中でも、年一回大きなイベントとして文化講演会なるものがあります。一番頭を悩ますのが講師の選定で

なのだ。一つは今できることを伸ばす。2つ目は優先順位をつけない。3つ目はやることのろいといった欠点を持っている人であります。時間というものは自分で作り出すものである。手紙一本でも書く暇がないと嘆いている人がいるとすると、よく聞いてみると書こうとする時に便箋が無い、ひどいのは住所録が無い。それでは書こうと思っても手紙が書けない、一事が万事である。従って準備がしてないとできないことが沢山ある。準備さえあれば手紙は10分あれば書ける。要は臨機応変にいつでも柔軟な日程ができる人、今日できることは明日に延ばさないことであろうし、それができる習慣をつけたい。そしていつでも自分を活性化させておくことが重要である。「ときにはさばって充電しよう」

二宮金次郎といえば勤勉と忍耐の人で、怠けとかさぼりとは縁が無いようだが生涯に1度3ヶ月も仕事をサボッタことがある。人間の価値は不在の時にわかる。長年同じテンポで生きてくると、そのリズムがもたらす疲労のオリのようものがたまってくる。正常のリズム内でとれない疲労感である。その時リズムを崩してみるのも良い。思いがけない新鮮なエネルギーが出てくる。旅に出るのも、行方不明になるのも一つの方法ではないか。

ギリシャの哲学者が「先生、人生で一番楽しいことはなんですか」と弟子に問われて哲学者は答えた。「目標をつくって、それに向かって努力することだ」私たちに与えられた人生の時間は永遠ではない。非常に限られている。最近、長寿・長命を願う人が多いが唯生きただけでなく、目標を持って生きた、夢をもち、感動して人生を生きたと語りたいものである。

人間は動物である。動物とは動き回るから動物なのである。動物は動き回れなくなると死ぬように設計されている。人間だけが動けなくなっても生き続けることができる。不健康であるが。

会員の声： 「チョット耳の痛い話」第13代幹事・第17代会長 梨木建夫

人というものは、ちょっとした言葉の使い方です。粗野で冷たい言葉遣いは自分にとって重要な意味を持たない事でも相手にとっては言葉だけで精神的に奈落の底へ突き落とされたりするものです。「言わぬが花」という言葉がありますがたとえそれが真実であろうと、相手が傷ついてしまうようなことは決して言うてはいけません。人間にとっては人を喜ばせることを言うよりも、批判したり屈辱感を味あわせる方が簡単にできるものであり、中には相手が嫌がることを言うことに快感を覚えている人もいます。人間の知性は感性に左右されるもの。言い換えれば感情をコントロールできなければ知性を最大限に発揮することはできません。また、恨みや妬みなどネガティブな感情を持っていると言いが嫌味になったり、人の神経を逆撫でするようなことを平気で言うてしまうものです。人の感情を逆撫でするような口の利き方はそれだけで自身の失点になります。人間は感情の動物と言われていますが、理性的になれるのもまた人間の特性です。常に平常心を持って話すことを心がけなければなりません。つまり話す場合はどんな時でも相手の気持ちを思い気遣って言葉を選びながら話すことが大切なのです。

一般的に学者や先生と呼ばれる人たちは社交オンチだと思います。小さな頃から優等生として生きてきた人が多く「先生」などと人から持ち上げられ、自分が偉くなったような気持ちでいる人が多い